

第127回(2023年12月度) 監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 豊島 秀一
(文責: 豊島 秀一)

1. 開催日時 2023年12月25日(月) 午後2時00分～午後5時00分
2. 開催方法・場所 会場(文京シビックセンター3階 会議室I・オンライン(ZOOM)併用方式
講師は会場より解説
司会(委員長)は会場で進行
委員は会場で会議サポート
3. テーマ **「クロネコヤマトの経営改革」**
4. 講師 ヤマトホールディングス株式会社 参与 山内 雅喜氏
5. 出席者 76名(会場参加30名、オンライン参加46名)
6. 配布資料 (事前に委員長から参加申込者に対してメールで参加案内と講演資料を送付、
講演資料は監査懇話会HPにも掲載した。)
第127回監査懇話会監査技術ゼミ
「クロネコヤマトの経営改革」
ヤマトホールディングス株式会社 参与 山内 雅喜氏

7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

オンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と
本日のテーマ紹介を行い、講師の山内 雅喜氏を紹介した。
なお出席者の内、当委員会への初参加者は以下の通り(今回は会場参加者に限定)。
(株)エフ・ユー 監査役 作田 龍昭氏

続いて、監査技術ゼミの趣旨について説明を行った。

監査技術ゼミは、時宜を得たテーマを設定、その分野の外部講師をお招きして
ゼミナールスタイルで開催していることと、質疑応答を通して会員・会友との
意見交換を大切にしていることを説明した。

今回の監査技術ゼミは、監査役等にとって重要な監査となる「経営判断の正当性」に
ついて、代表取締役社長として執行されてきたなかでの実例を踏まえてお話をいただく
ことと、「物流業界の課題解決の方向性」をテーマに開催することを説明した。

2) 講義

午後2時5分より、講師が資料に沿って講演を行い、3時10分に前半を終了した。
休憩をはさみ、3時20分から、後半の講演が行われ、4時10分に終了した。

3) 質疑応答および意見交換等

講義終了後、4時15分より出席会員会友と質疑応答ならびに意見交換が行われた。質疑応答および意見交換における項目は以下の通り。

- ・ 不祥事事例の原因の究明について（温度管理不徹底の事例）
 - ・・・不徹底の積み重ねによる蔓延と認識の甘さと、把握の仕組み不足、発生頻度に対する甘さとの相乗で発生した。
- ・ 経営判断の優先順位について、シミュレーションは行なっているのか
 - ・・・BCPやマニュアルがあるからではなく、何が大事なのかを大切にしている。普段の議論のなかで、一番大切なものを認識していける様にしている。
- ・ 小集団の意味について
 - ・・・エリアを見て顧客とお付き合いしていくうえで、情報コミュニケーションが取りやすく、相互サポートができる単位として10名程度の小集団が良く動いている。
- ・ 2011年4月11日の新聞広告の使い方について
 - ・・・メッセージの背景として、ヤマトは地域のひとに支えられている、不安を抱えているなか、寄り添う気持ちとしてメッセージを贈った。社員に向けても、全国の社員が支える意味もあった。
- ・ 被災地の活動について（ガレキのなかをヤマトの車が走るのが目立っていた）
 - ・・・救援物資の運搬がほとんどであった。被災された方から、ヤマトが走っていると日常生活に戻っていくという思いの言葉を聞いて、地域の人とつながっているとの思いを強くした。
- ・ ヤマトの創業者の想いの伝達について、伝道師の必要性について
 - ・・・ヤマトの文化を継承していける人材の選定と、会社の価値観の共有が重要である。人が人に向き合ってこそ、仕事生まれる。

以上について、講師から丁寧な応答と意見交換が行われた。

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答および意見交換の後、運営委員長より講師に感謝の意を表した。また参加者に対しアンケートへの協力要請（後日メールで発信）を行なった。

次回の監査技術ゼミの開催日2024年1月12日(金)と、「取引先の不祥事」リスクに備えよ！～ビッグモーター・ジャニーズ問題が提起する新たな論点～というテーマを案内して、16時50分に閉会となった。

以上